

## あ と が き

8月25日に開催いたしました守山市教職員全体研修会・教育研究発表大会には、多くの教職員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。本会は守山市教職員全体研修会との合同開催とし、教職員の皆様が参加しやすいよう夏季休業中に実施しております。

はじめに、辻本教育長より「私たち教職員が大切にしたいこと」をテーマにご講話をいただきました。教育者としての使命感や責任感、そして教育的愛情の大切さについて改めて考える機会となりました。また、全国学力・学習状況調査の考察をはじめ、喫緊の課題である不登校児童生徒への支援、心を育てる道徳教育および道徳科の進め方など、教職員が日々の教育実践の中で大切にすべき視点について学ぶことができました。とりわけ、「目の前の子どもの姿をしっかりと見つめること」「子どもの心に真に届く指導を行うこと」の重要性を改めて確認する研修となったと実感しております。

さて、本年度の研修では、参加者が研修後に「何ができるようになるのか」、研修で「何を学ぶのか」、そして研修を通して「どのように学ぶのか」を明確にし、研修参加者自身が主体となる研修となるよう意識して計画・実施いたしました。また、それぞれのキャリアステージに応じて、教職員が自らの課題意識に基づき必要な内容を主体的に選択して学ぶことができるよう研修を企画・運営しました。さらに、教育に特化した内容だけでなく、幅広い知識や教養を得ることができるものや、心身のリフレッシュにつながる研修内容も取り入れました。

加えて、研修機会の確保については、教職員の働き方改革の視点も踏まえ、オンデマンド形式の研修を導入するとともに、課業日に実施する研修については開始時間を工夫するなど、受講しやすい体制づくりに努めました。今後も、教職員の心に響く研修となるよう、内容や方法のさらなる改善に努めてまいります。

本研究所では、学校園が直面する今日的な教育課題の解決を目指し、研究および研修講座の充実を図りながら、守山教育のさらなる発展に寄与できるよう引き続き努力してまいります。本研究所の研究成果が、本市における教育実践の一助となれば幸いです。今後とも多くのご助言をいただきながら、より充実した研究と研修の推進に努めてまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の研究において、昨年度に引き続き指導講師としてご協力いただきました立命館大学大学院人間科学研究科特任教授 野田正人様をはじめ、教育研究発表大会においてご講演いただきました畿央大学教授 島恒生様、そして研修講座や研究活動においてご指導・ご協力を賜りました多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

守山市教育研究所 所長補佐 岡田 伊津子